

学力に関する証明書(別表第1) 中一種免(社会)

氏名		生年月日	年 月 日生
----	--	------	--------

上記の者は、下記のとおり、教育職員免許法別表第1第2欄に定める基礎資格を有し、同表第3欄に定める単位を修得したことを証明する。

令和8年5月31日

〇〇大学長 □□ □□

記

1. 基礎資格

・学位の種類	学士(文学)	・備考	
・在学期間	令和3年4月1日入学 ～ 令和7年3月24日卒業(〇〇大学文学部歴史学科)		

2. 単位修得機関・単位修得期間

①学部	上記基礎資格欄と同じ		
②科目等履修 (他学部・他学科 受講含む。)	単位修得期間	—	
	上記学校種・教科の課程認定を受けている学科等名	—	

3. 単位

(1) 教科及び教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に規定する科目		確認欄	単位修得済授業科目		備考
			名称	単位数	
教科及び教科の指導法に関する科目					28単位
・教科に関する専門的事項					
日本史・外国史	うち日本史	○	日本史概説	4	
	うち外国史	○	東洋史概説	4	
		○	西洋史概説	4	
地理学(地誌を含む。)		○	人文地理学	4	
		○	自然地理学	4	
		○	地誌	4	
「法学、政治学」		○	法学概論	4	
「社会学、経済学」		○	社会学概論	4	
「哲学、倫理学、宗教学」		○	哲学概論	4	
・各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)					
		○	社会科・地理歴史科教育法Ⅰ	2	
			社会科・公民科教育法Ⅰ	2	
			社会科・地理歴史科教育法Ⅱ	2	
			社会科・地理歴史科教育法Ⅱ	2	
・上記2つの事項を合わせた内容に係る科目					
			小計	44	
教育の基礎的理解に関する科目					10単位
・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		○	教育原論	2	
・教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		○	教職論	2	
・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		○	教育行政学	2	
・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		○	教育心理学	2	
・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		○	特別支援教育概論	2	
・教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		○	教育課程論	2	
			小計	12	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目					10単位
・道徳の理論及び指導法		○	道徳教育指導法	2	
・総合的な学習の時間の指導法		○	総合的な学習時間の指導法	2	
・特別活動の指導法		○	特別活動論	2	
・教育の方法及び技術		○	教育の方法及び技術	2	
・情報通信技術を活用した教育に関する理論及び方法		○	生徒・進路指導論	2	
・生徒指導の理論及び方法		○	教育相談	2	
・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		○			
・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		○			
			小計	12	
教育実践に関する科目					5単位
・教育実習					
事前及び事後の指導 教育実習		○	教育実習指導	1	
		○	教育実習A	2	
学校体験活動			教育実習B	2	
		○	教職実践演習	2	
			小計	7	
大学が独自に設定する科目					4単位
			小計	0	
			計	75	59単位

「生徒・進路指導論」を含む。

・上記の全ての単位を修得した年度 令和6年度

所要資格

教職課程コアカリキュラム対象科目

(2) 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

教育職員免許法施行規則に規定する科目	単位修得済授業科目		備考
	名称	単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2	8 単位
体育	身体運動論	2	
外国語コミュニケーション	英語コミュニケーション	2	
教理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報メディア演習	2	
計		8	

【備考】

- ・上記「確認欄」には、各欄の左に記載されている科目又は事項を含めて、授業科目を履修し、単位を修得している場合に「○」を記載すること。
- ・なお、「教科に関する専門的事項」の各科目の「確認欄」には、各科目の**一般的包括的な内容**を含めて、授業科目を履修し、単位を修得している場合に「○」を記載すること。

■本証明書に関する問い合わせ先

〇〇大学〇〇課 TEL：〇〇〇〇－〇〇－〇〇〇〇（直通） FAX：〇〇〇〇－〇〇－〇〇〇〇